

丸子町農産物直売センター農産物栽培情報

まきどき・植えどき・収穫どき

どきどき情報 1月

NO,17

2005年
1月1日
発行



賀正

明けましておめでとうございます
本年も宜しくお願いします

年頭にあたって

昨年、新年のこの紙面で「どんな事業でも、将来の成功や失敗を予測し断言することはできません。ただ分かっていることは、成功への努力なくして成功はありえないということです。」と書きました。昨年私たちが努力によって得た貴重な成果は、まさに組合員、あさつゆ職員の皆さんの汗と努力の結晶でした。あらためて感謝申し上げます。

確かに昨年は大きな手ごたえを感じた一年でした。しかしながら私たちが目指している、「本格的な地産地消の体制をこの地に構築する」という目標からすると、まだ事業は緒についたと言うところですが。常に大きな目標を展開しながら、本年の目標については「あさつゆを確実な軌道に乗せる年」と考えています。皆様のいっそうのご協力をお願いし、本年が組合員の皆様にとって良い年であることをご祈念申し上げます。

農産物直売加工施設運営組合長 伊藤良夫

野菜の作業

種まき	栽培管理のポイント	
<p>ハウス育苗型春レタス ・標高 500mで4月下旬～5月上旬頃に収穫する作型では今月が播種期です</p> <p>トマト (半促成無加温) 今月中～下旬が播種期 二十日大根：順次 品種：コメット ハウレンソウ：順次 品種：オーライ・トライ 小松菜など</p>	<p>果菜類の苗作り（注意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発芽に高温を要します。 トマト、ピーマン、ウリ類⇒20～30℃ ナス⇒15～30℃ ・発芽後は9cmポットへ移植 その後15cmポットへ移植する ・灌水は午前中に！ 夕方には鉢土表面が乾く程度に。 ・追肥 苗の生育を見ながら500倍程度に薄めた液肥を与える。 	<p>今年の作付け計画をつくりましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売センターが開設され半年が経過しました。各自、売れ筋の品目が分かってきたと思います。作付け計画を作成し、畑を有効に活用しましょう！ <p>【作付け計画の注意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基幹品目を決める（基本） <ul style="list-style-type: none"> ・経営の柱になる品目 2) 補完品目を組み合わせる（試験） <ul style="list-style-type: none"> ・新たな品目に挑戦を！ 3) 畑の組み合わせを考える <ul style="list-style-type: none"> ・連作障害に弱い品目は輪作を！ ⇒野菜の「科」を組み合わせの参考に！（下記の表）
	<p>農作業機の点検</p> <p>農閑期のこの時期に点検を行い、故障箇所は整備をし、農繁期の使用に備えましょう。</p>	

【主要野菜の科による分類】

科名	主な野菜	科名	主な野菜
なす科	トマト、ピーマン、ジャガイモ、トウガラシ、パプリカ	せり科	ニンジン、パセリ、セリ、みつば
うり科	スイカ、キュウリ、メロン、かぼちゃ、ヒョウタン、ヘチマ	あぶらな科	ダイコン、カブ、ハクサイ、キャベツ、カリフラワー、クレソン
きく科	レタス、フキ、ゴボウ、シュンギク、チコリ	ゆり科	タマネギ、ネギ、ニラ、アスパラガス、ニンニク、アサツキ
まめ科	サエントウ、エダマメ、ソラマメ、落花生	その他	イチゴ＝バラ科 ホウレンソウ＝アザミ科

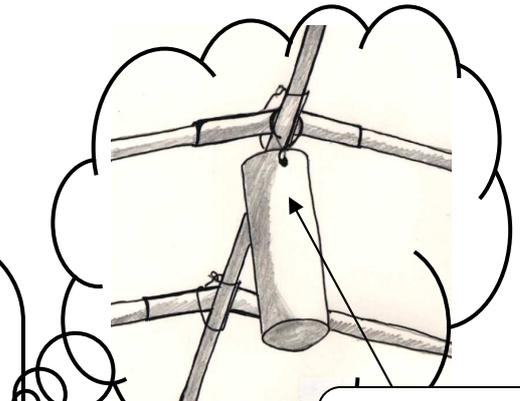
ハウスの雪害防止対策

今年は暖かな冬となっており、雪は少なめですが・・・
 そんな年ほど「ドカ雪」が多いもの・・・もう一度ハウスの補強状況を確認しましょう！

- 1) 中柱は3m間隔以内に設置する
- 2) 水平引張線は8～12番を用いて2m以内の間隔に張る

積雪量が多くなると、サイドに落ちた雪が横方向の力となり、横からハウスを押しつぶす事があるので早めの除雪を行う

私の工夫（伊藤良夫組合長：談）
 私は「中柱」を立てる時、右図のように65mmの塩化ビニールパイプを切り、上部に穴を空けたものに針金を通して吊るしておき、積雪時には角材を差し込みます。（角材が浮いた場合は板切れ等で補強）
 角材をさす時は面とりをしておくとお楽にさせます
 この方法は、ハウスの片付けも楽で便利です！

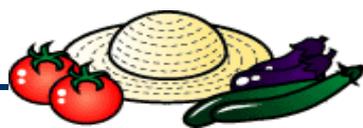


65mmの塩ビ管
 針金でつるす
 2.7m間隔に設置

ウメの剪定について



剪定のポイント	元気よく長く伸びた枝ではなく、短く充実した枝の先から元までびっしりと花芽を付けるので、短枝を多く作るような剪定が必要。ウメは放っておくと大枝、小枝が無数に生じ、收拾できない樹形になってしまうため、枝抜きや切り返し、切り詰め剪定を行い、ウメ本来の姿を作るように心がける。徒長枝、からみ枝などは取り除き、枝先は切りそろえる。
アドバイス	蕾をよく付ける短枝を多く作るように剪定すること。日陰を避ける。花を付ける短枝は3年程度で枯れてしまい、開花部分が年々枝先に移っていくので、狭い場所では5～6年目位に強い切り戻しを行い、開花枝を幹に近い低い部分に作りかえるのも方法です。
剪定期期	強剪定：12～1月 弱剪定：6月上旬～中旬



農業豆知識

質問コーナー

野菜の苗をプラグトレイを用いて育苗したいのですが・・・
 その長所や短所について教えて下さい

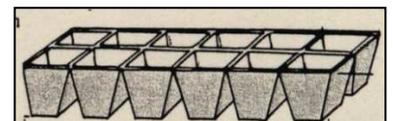
プラグトレイとは、図のように「くさび型」や「丸型」をしたプラスチック又は発泡スチロール製の育苗容器です。近年、野菜や花などの苗で利用が増えてきましたので目にすることがある方も多いと思います。葉野菜ではプラグトレイで育苗後、直接畑への定植が可能で、果菜類ではポットへ移植するまでの育苗が可能です。

長所は・・・

育苗培土の使用量が少なくてすむ。
 ハクサイ、レタスなどの葉野菜では直接ほ場への定植ができる。
 果菜類では土と伴に移植できるので根を傷ずらい。

短所は・・・

きちんと根回りをさせる必要がある（専用培土の利用）
 乾き易い（灌水労力）



図：プラグトレイ
 表：野菜別トレイ穴数

野菜の種類	トレイ穴数
レタス	2 4 2 穴
トマト等果菜類 (30日でポットへ移植)	
ハクサイ	1 2 8 穴
キャベツ・ブロッコリー	